**2-3. The Power to Unite People**

目標: Lesson 9のリーディングの内容を正確に把握する。

対象: 高校1年生

準備: ワークシート

**<タスクの進め方>**

○Pre-reading task

１．ブレインストーム方式で、前回までのリーディング内容を復習する。

２．ワークシートに載っている設問に答えてもらう。答えた後、ペアで自分の　アイデアをシェアしてもらう。

３．スプリングボクスが勝ったという所まで読んでから、ワークシートに載っている設問に基づいて物語の予想をしてもらう（生徒が、しっかりと設問の意味を理解できているかチェック。場合によっては説明を行う）。し終えたらパートナーと予想をシェアしてもらい、各設問に対する一番良いと思う予想を決めてもらい、ワークシートに書いてもらう。時間がありそうであれば、数組に予想を聞く。

４．リーディングの準備のために、ボキャブラリークイズに答えてもらう。その後、答え合わせをする。

○While-reading task

１．生徒達に教科書を黙読してもらい、自分達の予想と合っていたか確認して

もらう。その後、一度クラス全体でコーラス･リーディングを行う。

２．内容を理解しているか確認するために、ワークシートのTrue or falseの設問に答えてもらう。その後ペアで答えを確認させ（何故合っているか、もしくは間違っているかも、教科書を使って話し合ってもらう）、そしてクラス全体で答えを確認する。その後、一度黙読を行う。

３．記憶チャレンジゲーム “Real or no real” を行う。生徒達にTrue or falseの設問を作らせ、これを生徒同士で答えさせあう。問題は、一つは今回の授業からで、もう一つは前々回もしくは前回のところから出してもらう様指示する。生徒達は教科書を見てはいけないし、前のTrue or falseの答えも見てはいけない。答えが合っていれば10ポイント獲得。ワークシートに記入する。（見させないために、教師は生徒達に点線に沿ってワークシートを折る事を指示する）。生徒には、教師同士のデモを見てからやってもらう。このアクティビティーはペアで行い、１ペア１分半から２分で区切る。

S1: Springboks did their best, but could not win the game. Real or no real?

S2: I would say it is real.

S1: That is no real.

○Post-reading task

１．自分の尊敬する人について、その理由を書いてもらう。書いた後、自分の尊敬する人について、パートナーと情報をシェアする。